

---

# 紅

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

紅

### 【Nコード】

N6251N

### 【作者名】

### 【あらすじ】

紅き衣を纏いし者。

紅き刀を操りし者。

紅き髪を憎み、断ち切らんとする者。

紅を愛し、紅を使い、紅に怒る。

これはそんな物語。

## プロローグ？（前書き）

ども、ですよ。

これから書く物はファンタジーです。幻想ですよマジで。  
幻想的じゃなかったらごめんなさい。ド素人なんで、温かい目で見  
守ってやって下さいな。

## プロローグ？

「城下町・イーストシティ」

知ってるかい、あんだ。紅いコートに身を包んだ、悪魔も恐れぬ悪魔じみた何でも屋をさ。

外道ながらも腕は立ち、聖王国の中枢、聖都アスガルズの国王が緊急時には、渋りながらも莫大な金で雇う程。聖王国に対立する大魔帝国の刺客共を愛用の銃で蜂の巣にする勇姿に憧れたガキは数知れずだ。

紅と黒が絡み合うようなグラデーションが不気味な、回転弾倉式の銃。

それはあいつのお手製さ。名前はナインボール。名称通り、九つの弾を込められる大型の銃だ。

ベースの銃は俺がくれてやったんだ。あいつがここの孤児院で、まだ十も満たないガキだった頃にな。あれで何十何百の人間、悪魔、天使、魔物を穿って来たかは知らん。俺は銃の基礎を教えてやっただけだからな。後は自分で学ばせた。流行りの放任主義だよ。

おっと、自己紹介が遅れたな。俺の名前はジャック・オーヴァー。聖王国が全面で支援している、聖ワルキューレ教団が設立した孤児院の院長さ。

院長って言うっても、ここの管理者。つまり上役は別にいる。教団の幹部（司祭）の一人がここの最高権利者って訳だ。

ま、所謂中間管理職という訳よ。給料は悪く無いから文句は言えんがな。

さて、と。少し語らせて貰うぞ。

ガキ共は今、中庭で職員とかけっこの時間だ。院長の仕事つつても

書類に判子押しして教団に送って、七割は仕舞なんだ。つまり暇。い  
いだろどうせ、あんたも何でも屋に行く所だったんだから。

これを聞いたらず、考え直しな。何でも屋を訪ねるのを、初っ端  
から。

あいつは確かに何でも屋。金を積めば絶対に動く。例外は見た事が  
無いね。

問題は依頼内容じゃなくて、依頼にまで辿り着けるかどうかだ。

ああ、なんか勘違いしてるな？ 相手は凄く奇怪で面倒臭くて、交  
渉にまで話を進められるかが問題でしょ、って？

確かに奇怪だが、それ以前の問題だ。交渉以前に店に『入れるか』、  
がポイント。

入れたら全て、上手く行く。金さえあればの話だぜ。十万ピースも  
持つてりゃ足りるだろ。俺の時は林檎二個だったけどな。

ハハツ、その理由はまた後だ。兎にも角にも、始めるぜ。

何でも屋の名前はイヴリス。名字は無く、それが本名かも分からな  
いやローだ。

孤児院の門前に捨てられてたからな。籠の中にあつた一枚のペラ紙  
に『Evelis』と記されてあつたからそう読んでいる。本人は  
名前とかに無頓着だから、それが正式名称だ。

あいつが店を構えている場所は、ゴミ捨て場、掃き溜め、吹き溜ま  
りとして有名なヨトウンストリートの一角。

ここはイーストシティだから、ストリートのあるイーストエンドに  
はさほど時間は掛からないね。

ヨトウンストリート 通称、レッドロード。毎日真っ赤な血の池  
と赤いワインで、至る所が塗り固められているから、そう呼ばれて  
いる。

## プロローグ？（後書き）

今回はプロローグ。まあ次回の何でも屋についての話もプロローグなんですけどね。

何文字書いたら次のページに書けるんだろ……まだまだ、システムには謎が多いです。機械音痴でごめんなさい。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6251n/>

---

紅

2010年10月28日08時03分発行